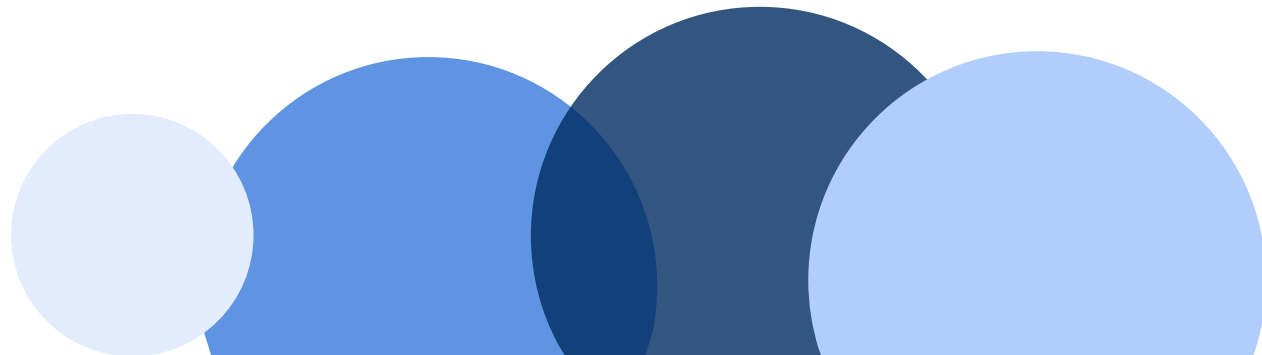


4. 健康危機管理(災害・感染症)

確認テスト



問題1

- 「国土並びに国民の生命、身体及び財産を災害から保護」し、「社会の秩序の維持と公共の福祉の確保に資すること」を目的しており、災害予防～応急救助～復旧・復興の段階まで、日本のあらゆる災害対策の基盤となる法律はどれですか。1つ選びましょう。

1. 災害救助法
2. 活動火山対策特別措置法
3. 大規模地震対策特別措置法
4. 災害対策基本法

問題1 【解答】

- 「国土並びに国民の生命、身体及び財産を災害から保護」し、「社会の秩序の維持と公共の福祉の確保に資すること」を目的しており、災害予防～応急救助～復旧・復興の段階まで、日本のあらゆる災害対策の基盤となる法律はどれですか。1つ選びましょう。

1. 災害救助法

⇒ 災害発生後(または発生するおそれがある場合)の「応急救助」の段階を対象とする法律です。
(「4-1.健康危機時の保健活動に関する法制度①」P6参照)

2. 活動火山対策特別措置法

⇒ 災害の種類のうち「火山」を対象とする法律です。(「4-1.健康危機時の保健活動に関する法制度①」P8参照)

3. 大規模地震対策特別措置法

⇒ 災害の種類のうち「地震」を対象とする法律です。(「4-1.健康危機時の保健活動に関する法制度①」P8参照)

○ 4. 災害対策基本法

⇒ こちらが正解です。(「4-1.健康危機時の保健活動に関する法制度①」P5-9参照)

問題2

- 感染症のまん延等の健康危機が発生した場合に、地域の保健師等の専門職が保健所等の業務を支援する仕組みを表す言葉として、正しいものを1つ選びましょう。
1. ICT (Infection Control Team)
 2. IHEAT (Infectious disease Health Emergency Assistance Team)
 3. DHEAT (Disaster Health Emergency Assistance Team)
 4. AST (Antimicrobial Stewardship Team)

問題2 【解答】

- 感染症のまん延等の健康危機が発生した場合に、地域の保健師等の専門職が保健所等の業務を支援する仕組みを表す言葉として、正しいものを1つ選びましょう。

1. ICT (Infection Control Team)

⇒ 医療機関において、院内感染対策委員会の下部組織として、院内感染対策を推進する「感染制御チーム」のことです。

○ 2. IHEAT (Infectious disease Health Emergency Assistance Team)

⇒ こちらが正解です。(「4-2.健康危機時の保健活動に関する法制度②」P9参照)

3. DHEAT (Disaster Health Emergency Assistance Team)

⇒ 「災害時健康危機管理支援チーム」のことです。(「4-5.受援方針の判断と指揮調整①」P6参照)

4. AST (Antimicrobial Stewardship Team)

⇒ 医療機関における「抗菌薬適正使用支援チーム」のことです。

問題3

- 「保健所における健康危機対処計画(感染症編)策定ガイドライン」において、保健所が一般市町村と連携すべき事項として記載されているのは次のうちどれでしょう。正しいものを2つ選びましょう。
 1. 感染症対策における演習・訓練等の機会を提供する。
 2. 生活支援、健康観察、住民への相談対応、災害時の対応、学校等への対応、安否確認、要配慮者への対応等について、役割分担や情報共有方法等の連携のあり方をあらかじめ決めておく。
 3. 検体搬送に係る手順、検査結果の共有方法、調査・研究、情報発信等について事前に協議しておく。
 4. 保健所への人員等応援体制の調整、予算・物資等の確保、外部委託に係る役割分担等についてあらかじめ協議しておく。

問題3 【解答】

- 「保健所における健康危機対処計画(感染症編)策定ガイドライン」において、保健所が一般市町村と連携するべき事項として記載されているのは次のうちどれでしょう。正しいものを2つ選びましょう。
- 1. 感染症対策における演習・訓練等の機会を提供する。
⇒ こちらが正解です。(「4-3.健康危機に備えた計画策定等による体制整備」 P11参照)
- 2. 生活支援、健康観察、住民への相談対応、災害時の対応、学校等への対応、安否確認、要配慮者への対応等について、役割分担や情報共有方法等の連携のあり方をあらかじめ決めておく。
⇒ こちらが正解です。(「4-3.健康危機に備えた計画策定等による体制整備」 P11参照)
- 3. 検体搬送に係る手順、検査結果の共有方法、調査・研究、情報発信等について事前に協議しておく。
⇒ 地方衛生研究所等と連携するべき事項です。
- 4. 保健所への人員等応援体制の調整、予算・物資等の確保、外部委託に係る役割分担等についてあらかじめ協議しておく。
⇒ 都道府県等(保健所設置自治体)本庁と連携するべき事項です。
(「4-3.健康危機に備えた計画策定等による体制整備」 P11参照)

問題4

- 以下の空欄(A)(B)に当てはまるものとして、正しい組み合わせを1つ選びましょう。
- 健康危機発生直後は、責任の所在及び(A)を確定し、(B)で指揮命令を行うことが重要である。

1. (A)指揮命令系統 ——— (B)ボトムアップ方式
2. (A)人材育成方針 ——— (B)トップダウン方式
3. (A)指揮命令系統 ——— (B)トップダウン方式
4. (A)人材育成方針 ——— (B)ボトムアップ方式

問題4 【解答】

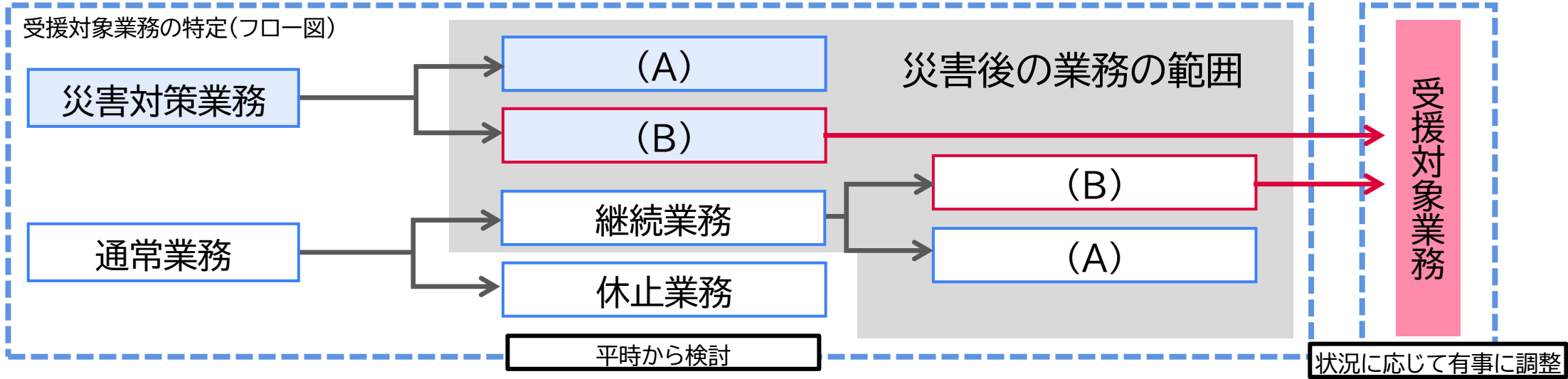
- 以下の空欄(A)(B)に当てはまるものとして、正しい組み合わせを1つ選びましょう。

- 健康危機発生直後は、責任の所在及び(A)を確定し、(B)で指揮命令を行うことが重要である。

1. (A)指揮命令系統 —— (B)ボトムアップ方式
2. (A)人材育成方針 —— (B)トップダウン方式
- 3. (A)指揮命令系統 —— (B)トップダウン方式
⇒ こちらが正解です。(「4-4.健康危機管理におけるマネジメント」P4参照)
4. (A)人材育成方針 —— (B)ボトムアップ方式

問題5

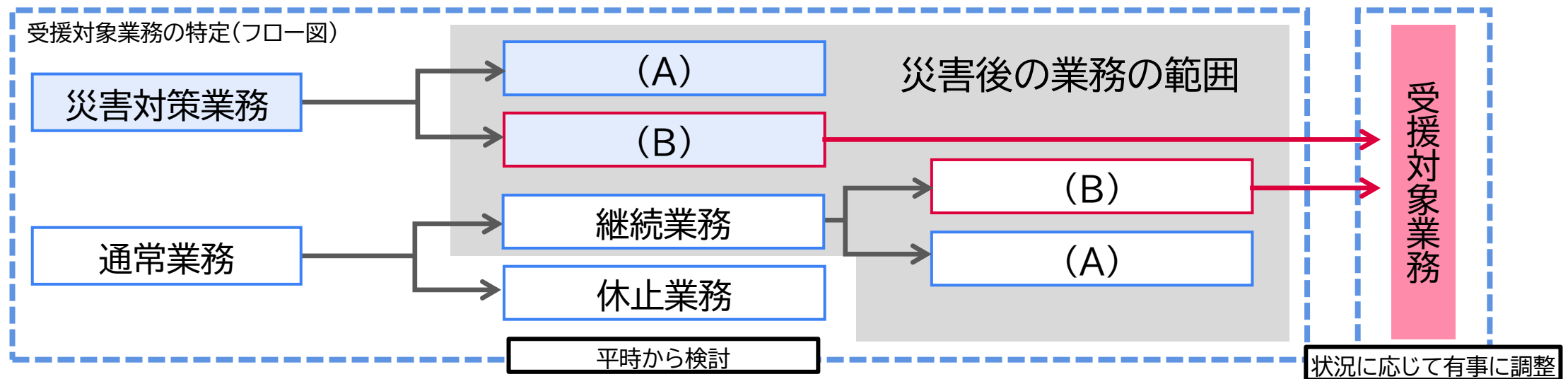
- 災害発生時に備え、応援職員等に担ってもらう受援対象業務をあらかじめ選定し、整理しておくことが重要です。
- 以下のフロー図の空欄(A)(B)に当てはまるものとして、正しい組み合わせを1つ選びましょう。



1. (A)受援を要する業務 ————— (B)市町村内部で対応可能な業務
2. (A)市町村内部で対応可能な業務 ————— (B)受援を要する業務

問題5 【解答】

- 災害発生時に備え、応援職員等に担ってもらう受援対象業務をあらかじめ選定し、整理しておくことが重要です。
- 以下のフロー図の空欄(A)(B)に当てはまるものとして、正しい組み合わせを1つ選びましょう。



1. (A) 受援を要する業務 ————— (B) 市町村内部で対応可能な業務
- 2. (A) 市町村内部で対応可能な業務 ————— (B) 受援を要する業務
⇒ こちらが正解です。(「4-5. 受援方針の判断と指揮調整①」P12参照)

問題6

- 応援派遣を求める際の具体的な手順(以下a、b、c)について、正しい順番を1つ選びましょう。

- a. 【被災都道府県】(都道府県内の応援のみでは対応が困難な場合、)
隣接都道府県または当該都道府県の災害時相互応援協定締結自治体へ派遣を要請
- b. 【被災市区町村】被災市区町村のみでは対応が困難な場合は、当該都道府県に対して、保健師等の派遣を要請
- c. 【被災都道府県】被災市区町村以外の市区町村へ保健師等の派遣を要請

1. $a \rightarrow b \rightarrow c$

2. $b \rightarrow c \rightarrow a$

3. $c \rightarrow a \rightarrow b$

問題6 【解答】

- 応援派遣を求める際の具体的な手順(以下a、b、c)について、正しい順番を1つ選びましょう。

- a. 【被災都道府県】(都道府県内の応援のみでは対応が困難な場合、)
隣接都道府県または当該都道府県の災害時相互応援協定締結自治体へ派遣を要請
- b. 【被災市区町村】被災市区町村のみでは対応が困難な場合は、当該都道府県に対して、保健師等の派遣を要請
- c. 【被災都道府県】被災市区町村以外の市区町村へ保健師等の派遣を要請

1. a→b→c

○ 2. b→c→a

⇒ こちらが正解です。(「4-6.受援方針の判断と指揮調整②」P7参照)

3. c→a→b

4. 健康危機管理(災害・感染症)

確認テストはここまでです

